

Marshall

Broadcast A/V Division



ML-454

Quad 4.5" Rack Mount Monitor with
3G-SDI, HDMI and Composite Inputs

Operation Guide

日本語版

目次

1. はじめに	2
2. 内容物.....	2
3. 取り付け	2
4. 基本操作.....	4
5. メニュー機能.....	6
6. 仕様	9
保証.....	10

1. はじめに

ML-454 は、ラック高わずか 2U と非常にスリムな 4 つのワイドディスプレイを備えています。

奥行は 35.8 mm と薄型設計です。各ディスプレイには、3G-SDI、HDMI、およびアナログビデオソースのコンポジット(CVBS)入力が標準装備されています。

SDI デジタル入力はアクティブスルーアウトが標準装備となっております。

フロントパネルにコントロールスイッチが配置されています(設定の為にコンピューターに接続する必要はありません)。メニューはわかりやすく直感的に操作できます。フロントパネルのヘッドフォンジャックにより、エンベデッドデジタルオーディオを聞くことができます。SDI、HDMI およびアナログオーディオ(コンポジットビデオ AV 入力用)。画面上の 3 色のタリーは、標準の GPI 接続(接点またはオープンコレクタープルダウン)で動作します。既存のシステムと互換性がございます。タリーは画面内に枠で表示されます。

2. 内容物

ML-454 には、次のアイテムが含まれていることを確認してください。

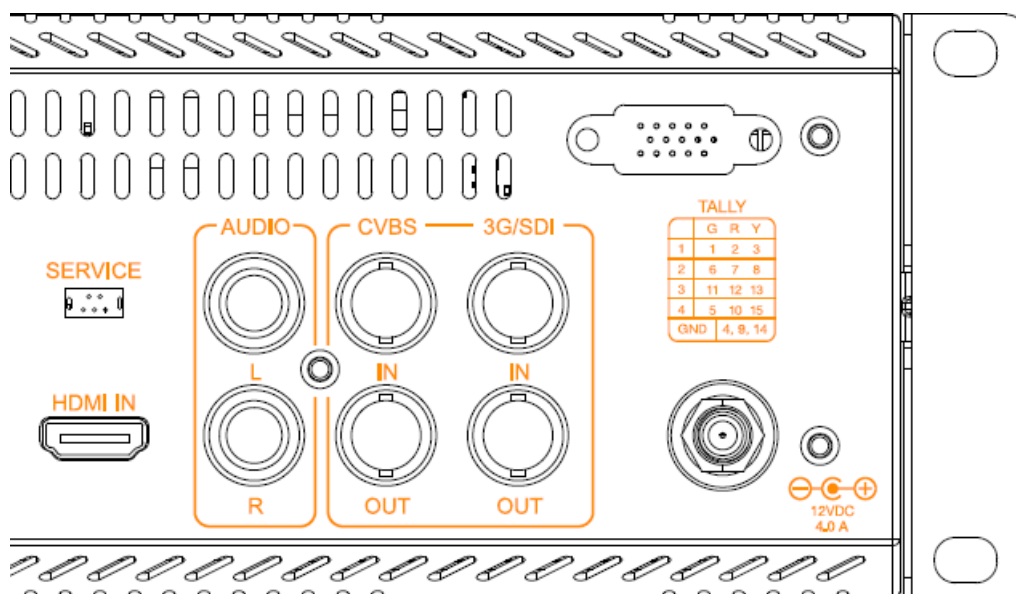
ご購入後はすぐに本体に損傷がないかなど製品が正常動作するかをご確認ください。損傷がある場合は、すぐにご購入販売店にご連絡をしてください。

番号	品 名	数量
1	ML-454 モニター(本体)	1
2	AC 電源(12V)	1
3	取扱説明書(本書)	1

3. 取り付け

ML-454 は、ラックイヤーを使用して、19 インチ機器ラックに取り付けられるように設計されています。取り付けたら、モニターを理想的な表示位置に傾けることができます。モニターを傾けたときに引っ掛からないように、モニターに接続されているケーブルに十分なたるみがないように注意する必要があります。また、ラック内の他の機器によって通気孔が塞がれていないことを確認してください。

接続、電源、初期設定



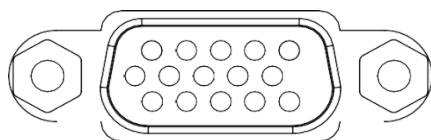
注：画面毎に、ビデオ入力接続、設定ができますが、電源と TALLY の接続は共通のコネクタですべての画面に接続されています。

1. 電源コネクタ

12VDC 入力を電源入力コネクタに接続します。付属の電源から、または 12 ボルトで少なくとも 4.0 アンペアを供給するさまざまな DC 電源から電力を供給することができます。(12 ボルトで平均消費電力 2.0 アンペア)

2. TALLY コネクタ

各モニターの上のタリーライトは、表に示すように、タリーコネクターの適切なピンを接地することによって制御されます。注意：Tally コネクタに外部電源を供給しないでください。故障の原因となる場合がございます。(Tally コネクタには VGA コネクタと同じ「フットプリント」があります。)



Tally	Green Light	Red Light	Yellow Light
Screen #1	1	2	3
Screen #2	6	7	8
Screen #3	11	12	13
Screen #4	5	10	15
GND	4, 9, 14		

付属の電源を AC 電源に接続します(100～240 ボルト@ 50 / 60Hz)。電源コネクタをモニターの背面に取り付けます。

ビデオ信号の入出力に必要なケーブルを接続します。

電源が接続されている場合、モニターはデフォルトで「オン」になっています。マーシャル名が最初に表示され、次にビデオが自動的に検出されて画面に表示されます。ビデオが表示されない場合は、フロントパネルの INPUT ボタンを押してアクティブなソースを選択します。SDI および CVBS 入力には、アクティブなループスルー接続があります。主電源がモニターから取り外されている場合、アクティブループスルーは機能しません。前面の電源ボタンは、ループスルー操作には影響しません。

4. 基本操作

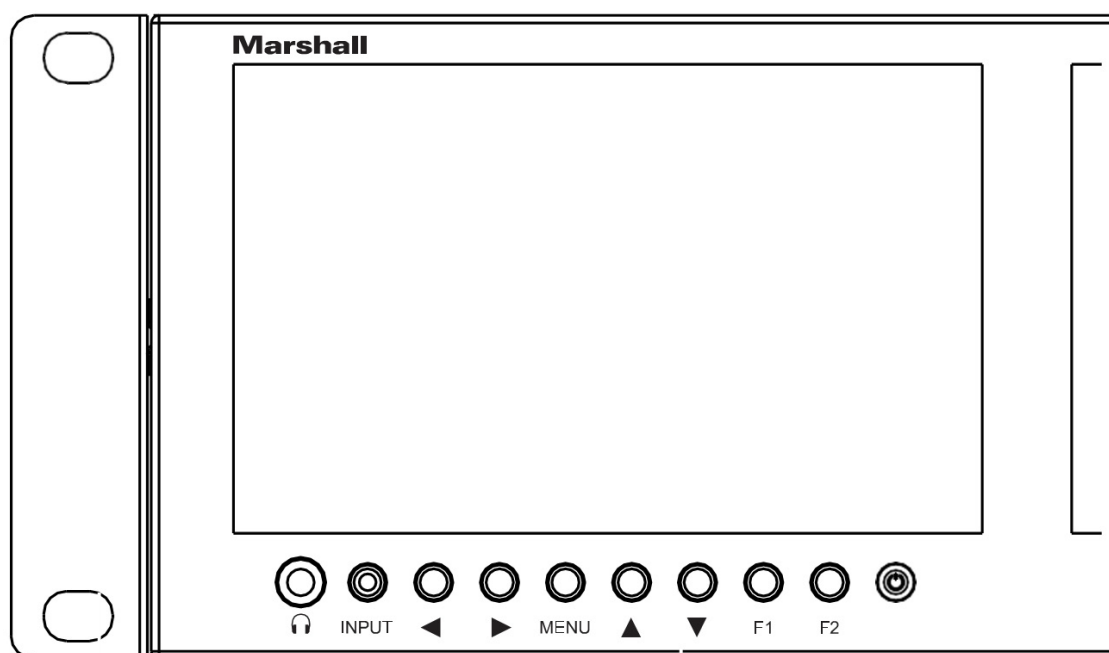
主電源が ML-454 に入力されると、ソースの入力選択はデフォルトで最後に使用されたソースになります。

参照: ソースボタンを押して入力を選択できます。選択肢 HDMI、SDI 及び AV (CVBS 複合アナログ)。

ヘッドホンの音声レベルは、◀ボタンと▶ボタンを押すことでいつでもすぐに調整できます。

各画面の電源ボタンは、各モニター下の一番右にあります。画面がオンのとき、ボタンは緑色に点灯します。

フロントパネルコントロール



- ヘッドフォンジャック

INPUT

- HDMI、SDI、AV ソースを選択



- ヘッドフォンの音量とメニューのナビゲーション

MENU

- オープン/戻る/閉じるメインメニュー画面



- メニューナビゲーション

F1 & F2

- ターンユーザプログラムされた機能オン/オフ



- 電源のオン/オフ

5. メニュー機能

メニューボタンを押すと、この図のような画面が表示され、5 つのメインメニューカテゴリが表示されます。

矢印ボタン▲▼を使用して、目的のカテゴリに移動します。

		▲
Video	Pic. Mode	User
Function	Brightness	50
	Contrast	50
OSD	Saturation	50
	Sharpness	15
Setting	Color Temp.	User
Function Presets	Red	128
	Green	128
	Blue	128
	Tint	50
		▼

1. Video ビデオ

モニターの調整: 彩度、明るさなど。

Pic,Mode (ピクチャーモード): 3 つのプリセットとユーザー設定から選択します。

Standard(標準設定): 設定はミッドレンジです。

Dynamic(ダイナミック): コントラストが向上します。

Mild(マイルド): コントラストと彩度が低下します。

User(ユーザー): 明るさ、コントラスト、彩度、シャープネスは個別に調整できます。

色温度: 6500、9300、またはユーザーを選択します。

6500: ディスプレイのホワイトバランスは約 6500K(標準)です。

9300: ディスプレイのホワイトバランスは約 9300K(クール)です。

User ユーザー: 赤、緑、青のゲインを調整して、目的のホワイトバランスを実現できます。

Tint(色合い): コンポジットビデオソースの問題を修正するために使用されます。すべての色が影響を受けません。色合いは通常、デジタルビデオソースには適用されません。

2. Function 機能設定

画面上のマーカー、アスペクト比、画像の反転、ピーキングフィルター、その他の支援ツールを選択します。

Center Marker センターマーカー: 画像の正確な中心にクロスマーカーを配置します。

Safety Marker セーフティマーカー: カメラフレーミングの安全領域を示す境界線を作成します。80%から96%まで調整可能で、幅は 2.35 です。

Marker Color マーカー色: 別の画像に応じて高コントラストのマーカーの色を選択します。色の選択肢は、赤、緑、青、黒、白です。

Check Field チェックフィールド: ◀▶を使用して、単一の原色または色なし(モノクロ)を表示します。

Peaking Filter ピーキングフィルター: これは、ビデオカメラにシャープフォーカスを設定するのに役立つツールです。このモードがオンの場合、画像はモノクロになり、画像内のオブジェクトの周囲に赤い境界線が表示されます。カメラのレンズを調整すると、赤い境界線が明るくなったり暗くなったりします。より明るい=より鮮明な焦点。

Aspect Ratio アスペクト比: 表示されているアスペクト比を選択して、ソースに合わせます。

Full Screen 全画面表示: 画像は、表示領域の端にぴったり合うように調整されています。

Pixel to Pixel ピクセル: 画像ピクセルは、表示ピクセルに 1:1 でマッピングされます。(スケールオフ)。ほとんどの場合、これは画像を拡大しているように見えます。

4:3 : ビデオは 4:3 ウィンドウに収まります。これは、標準定義ビデオの一般的な設定です。

16:9 : ビデオは 16:9 ウィンドウに収まります。これは、HD ビデオの標準のアスペクト比です。

Zoom1: 画像が拡大され、少しトリミングされます。

Zoom2: 画像はズーム 1 の 2 倍に拡大およびトリミングされます。

Image Flip 画像の反転: 表示された画像を反転して、特殊なレンズやミラーを補正します。▲▼ボタンを使用して以下を選択します。

H_V Flip: H フリップモードと V フリップモードを組み合わせます。

H Flip: 画像は左から右にフリップされます(ミラー)。

VFlip: 画像は上から下にフリップされます。

Image Freez 画像のフリーズ: フリーズがオフになるまで、画面上の現在の画像を保持します。

Zoom All すべてズーム: ▶ボタンをタップして画面上の画像を全方向に拡大します。デフォルト設定は「0」です。

U / D Zoom: ◀▶ボタンを使用して画面上の画像を垂直方向に拡大します。

L / R Zoom: ◀▶ボタンを使用して画面上の画像を水平方向に拡大します。

Scan Mode スキャンモード: 調整可能な項目は標準およびオーバースキャンです。

Overscan オーバースキャン: 画像を端までチェックアウトできます。

3. OSD

On-Screen Display オンスクリーンディスプレイ機能(メニュー、ポジションなど)

OSD Horizontal Position 水平位置:メニューの水平位置を調整します。

OSD Vertical Position 垂直位置:メニューの垂直位置を調整します。

OSD Menu Transparecy メニューの透明度:メニューの背景透過を調整します。

OSD Timeout タイムアウト:メニュー項目が画面に表示される秒数を設定します。

Input Format OSD 入力フォーマット OSD:信号フォーマット/フレームレート表示

4. Setting 設定

メニュー言語、出荷時設定へのリセット、アップグレードモードを選択します。

Language 言語:メニューとメッセージの画面上の言語を選択します。

Backlight バックライト:画面のバックライトの明るさを調整します。周囲を補う照明。

Factory Reset ファクトリー・リセット:押しボタンが元の(工場出荷時)状態に表示バックを設定します。

USB Upgrade アップグレード:USB ポートに接続されたコンピューターからファームウェアの更新を開始します。

5.Function Presets 機能プリセット

ユーザーの機能ボタンをプログラムします。

ユーザーボタンを使用すると、メニューシステムに入らずに機能をすばやく選択できます。

F1&F2: ◀▶および▲▼ボタンを使用して、このリストから機能を選択します。フィールドピーキングフィルターのアスペクト比を確認します。画像を反転します。画像をフリーズスキャンモードにします。

センターマーカ	アスペクト比
安全マーカ	画像反転
マーカカラー	画像フリーズ
チェックフィールド	スキャンモード
ピーキングフィルター	

6. 仕様

パネルサイズ	4.5インチ TFT LCD	
解像度	1280 x 800	
バックライト	LED, 輝度調整式	
画素ピッチ	0.07575(H) x 0.02525(W)mm	
アスペクト比	16:10	
色深度	True 8-bits	
輝度	470 (cd/m ²)	
コントラスト	900:1	
視野角	80°/80°(L/R) 80°/80°(U/D)	
入力	HDMI / 3GSDI / CVBS / Audio(L/R)	
出力	3GSDI / CVBS アクティブスルー	
アナログ入力	PAL / NTSC	
HDMI入力	480i /480p /576i /576p (59.94/50) 720p (60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98) 1080i (60/59.94/50) 1080p (60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98)	
3G-SDI入力	ITU-R BT.656	576i
	SMPTE-125M	480i
	SMPTE-274M	1080i (60/59.94/50) 1080p (30/29.97/25/24/23.98)
	SMPTE-296M	720p (60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98)
	SMPTE-424M	1080i (60/59.94/50) 1080p (60/59.94/50)
イヤーフोनジャック	ステレオ ϕ3.5mm	
電源	DC: 10~24 V (Typical 12 V)	
消費電力	28 W	
電源コネクター	5.5 mm x 2.1 mm locking coaxial	
製品寸法	19.0" W x 3.3" H x 1.4" D 482.5mm W x 84mm H x 35.8mm D	
製品重量	3.53lbs, 1.6kg	

保証

Marshall ML-454 4.5 インチ 4 連モニターは、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から 1 年間は無償修理保証の対象となります。

この保証はご購入者様のみに適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。

シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。

この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正は、この保証を無効にします。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、マーシャルエレクトロニクスに代わって保証期間を延長することはできません。

製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。

保証期間内でも以下の場合には有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

誤った使用方法や、不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。

落下などによる故障、損傷。

火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内サポート窓口

Marshall

BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&Inext Marshall 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

<https://minext.jp/marshall/>

contact@minext.jp

2022 年 8 月 3 日